

はじまるヨ！ 小中一貫教育 ニュース

志 木 市 教 育 委 員 会
学 校 教 育 課
第 2 1 号
令和7年3月31日発行

志木市において、令和7年度から実施される小中一貫教育や、令和9年度に志木第二中学校区に開校予定の義務教育学校について、多くの方が経験されていないこともあり、期待が大きい反面、心配な点や不安な点をお持ちの方もいらっしゃると思います。少しでも解消できるよう、教育委員会として視察に行った義務教育学校の情報をお届けいたします。視察先の学校では充実した教育活動を行い、児童生徒については主体的で活発な学校生活を送っていました。

視察先：八王子市立いずみの森義務教育学校

児童・生徒数：1348人（令和6年9月1日現在）

学 級 数：通常学級39学級、特別支援学級9学級

通級指導学級、難聴、言語障害

U R L：<https://hachioji-school.ed.jp/izmme/>



学校ホームページ

☆特徴的な教育活動（異学年交流の一例）

○わくわく清掃：9年生がリーダーとなり、1～9年生が縦割り活動の中で掃除をしている。

○九九の定着：有志の8、9年生が、朝の時間に2年生の九九の学習を確認する取組。

○大運動会：赤・青・黄の各チームに分かれ、それぞれ9年生が応援団長となり、9学年をまとめて応援合戦等も行い、下級生は上級生に憧れを持つ素晴らしい機会となっている。

☆八王子市立いずみの森義務教育学校の先生方に聞いてみました！

Q：小中一貫教育を推進している中で一番良かったと感じることは何ですか？

A：日常的に行われている異学年交流を見ていると、上級生からは下級生への温かい思いやりの心が、下級生からは上級生への憧れの気持ちが醸成されていることがよくわかります。そのような状況から良い人間関係を作りながら成長していると感じます。

Q：前期課程と後期課程の児童生徒の関わりはどうか？

A：後期課程の上級生が前期課程の下級生をよく面倒を見ていると思います。心温まる異学年交流を見ていると、微笑ましい気持ちになります。

Q：小中一貫教育を導入することで大きく変化したことはありますか？

A：全国学力・学習状況調査の「自己肯定感」、「大人への信頼」を示す質問の回答が全国平均より大幅に高くなりました。前期課程で教わった先生にいつでも相談できる環境が影響していると感じます。



上級生と下級生が一緒になって行う清掃活動の様子

【お問い合わせ先】

志木市教育委員会学校教育課 小中一貫教育推進グループ

☎ 048-456-5367

E-mail g-kyouiku@city.shiki.lg.jp

HP [志木市小中一貫教育ポータルサイト](https://hachioji-school.ed.jp/izmme/)

本ニュースや小中一貫教育について、御意見や御質問等がございましたら御連絡ください。

© 2024 Shiki City